

特別会計・事業会計は、一般会計と区分し特定の収入と支出で経理を行なう会計です。

次に、特別会計・事業会計の決算状況を見てみよう！

(※万円未満は端数調整あり)

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
十王財産区特別会計	413万円	19万円	394万円
下水道特別会計	5億344万円	4億4,650万円	5,694万円
国民健康保険特別会計	19億3,820万円	18億3,686万円	1億134万円
農業集落排水特別会計	1億3,688万円	1億3,007万円	681万円
介護保険特別会計	16億1,367万円	15億8,128万円	3,239万円
後期高齢者医療特別会計	1億4,588万円	1億4,450万円	138万円
水道事業会計〈収益的収支〉	3億615万円	2億5,994万円	4,621万円
水道事業会計〈資本的収支〉	1,388万円	1億2,930万円	▲1億1,542万円
病院事業会計〈収益的収支〉	10億8,252万円	11億3,554万円	▲5,302万円
病院事業会計〈資本的収支〉	378万円	1億3,877万円	▲1億3,499万円
訪問看護ステーション事業会計〈収益的収支〉	3,009万円	3,127万円	▲118万円
訪問看護ステーション事業会計〈資本的収支〉	0万円	86万円	▲86万円
合計（一般会計を含む）	154億5,714万円	146億5,789万円	7億9,925万円

平成29年度は、人口減少、そして少子高齢化が急速に進行する中、人口減少緊急対策プロジェクトチームを立ち上げ、共創のまちづくりの理念のもと、人口減少対策や地方創生に向けた施策展開を確実に実施してきました。

一般会計における決算は、前年度に比べ歳入総額で7億9,248万円（8.9%）、歳出総額で4億8,089万円（5.8%）上回る結果となり、収支差引は8億5,571万円となりました。

歳入については、町が自主的に収入することができ、町税などの**自主財源**は、税収入の161.8万円の増や、公共施設整備基金からの繰入金金の増などにより、前年度に比べ約878万7千円の増加となりました。また、国や県からの補助金や地方交付税、地方譲与税、町債（借入金）などの**依存財源**も、約7億4,599万円の増加となりました。

歳出については、その性質別に見ると、支出が義務づけられ

前年度との比較と今後の見通しについて...

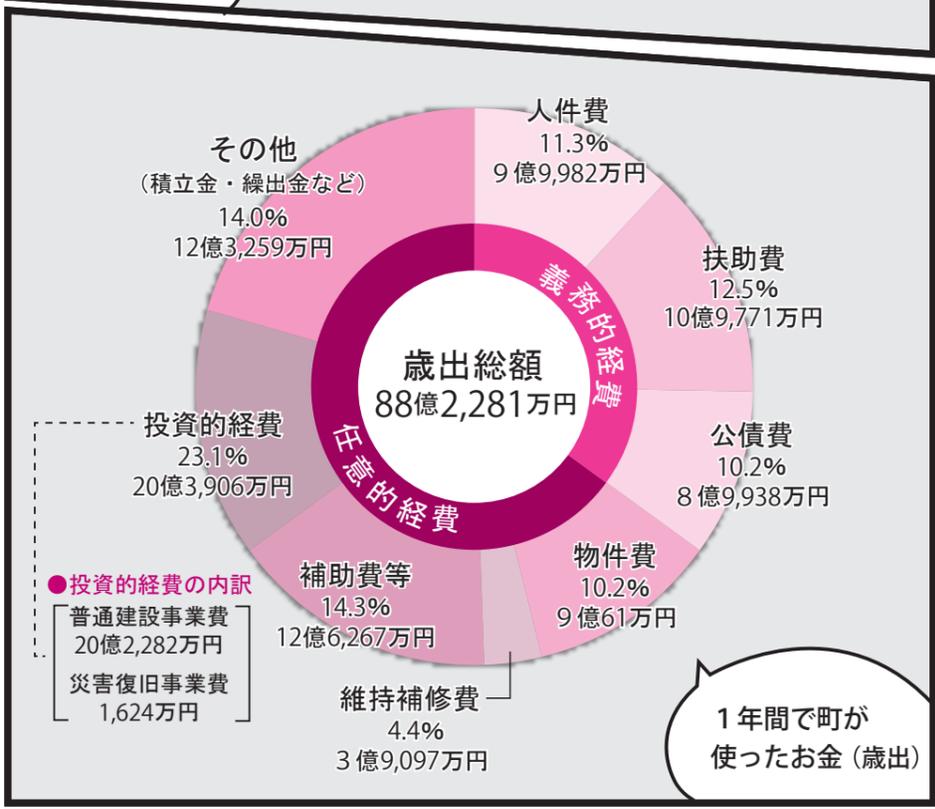
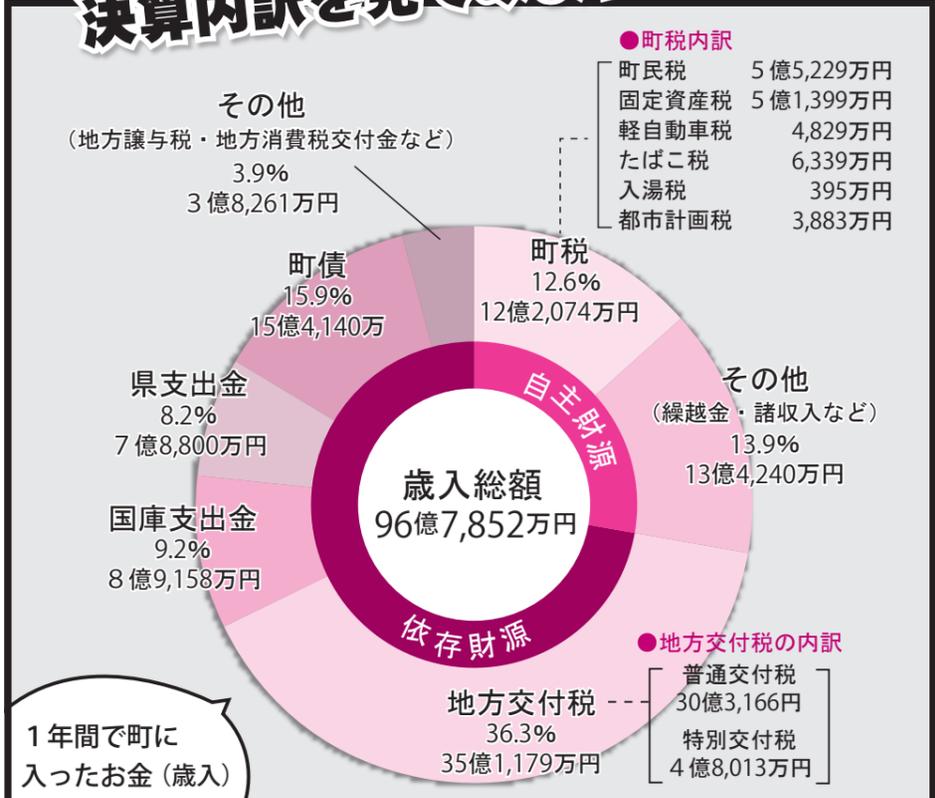
て任意に削減できない**義務的経費**は、扶助費（住民福祉経費）が約9,177万円、公債費（借入金返済）が約9,261万円の増加となりました。義務的経費以外の**任意的経費**では、普通建設事業費（公共・公用施設の整備経費）が、まちづくり複合施設整備事業の増などにより約8億7,582万円の増加となりました。そのほか、今後見込まれる財政需要等に備え、財政調整基金と減債基金に合わせて8,000万円の元金積立てを行ないました。

持続可能で健全な財政運営を基本とした取り組みを進めていますが、投資的経費の増加により地方債（借入金）残高が増加し、また、歳入全体の約4割を占める地方交付税や補助金などへの依存度が高い状況にあり、自主財源の確保が大きな課題となっております。

引き続き、安心・安全なくらしの確保に向けて、計画的な行政改革の推進に努め、より良いまちづくりを進めていきます。

では、具体的にどのようにお金が使われたのか、気になる中身を次のページで見てみよう！

まずは、一般会計の決算内訳を見てみよう！



おしえて!! まちの財政状況

私たちが納めた税金、どのように使われているんだろう...?

平成29年度の決算を報告します。

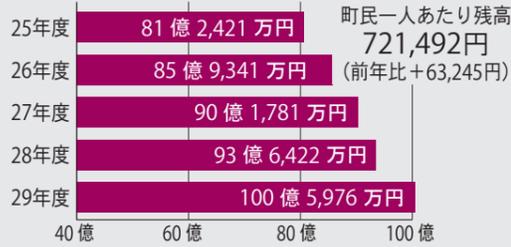


## 基金と地方債の残高状況を見てみよう!

### ●積立基金（貯金）残高の推移



### ●地方債（借入金）残高の推移



ところで...  
今の白鷹町の財政状況はどうなっているのかなあ?

### 主な基金（積立基金）の積立状況

名称	金額
財政調整基金	10億188万円
減債基金	3億615万円
公共施設整備基金	9億4,325万円
体育館建設基金	1億967万円
福祉振興基金	1億263万円
その他の基金	1億9,875万円
積立基金合計	26億6,233万円

### 「基金」とは？

町の預貯金のことです。財源不足に備えるための財政調整基金のように特定の目的のために積み立てるもの（積立基金）のほか、特定目的のために定額の資金を運用するためのもの（定額運用基金）があります。

### 公営企業における資金不足比率について

水道、町立病院、訪問看護ステーション、下水道、農業集落排水の全会計について、資金不足は発生していないため比率はありません。

財政の早期健全化及び財政の再生並びに公営企業の経営の健全化を目的として制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、健全化判断比率及び資金不足比率について公表が義務付けられています。

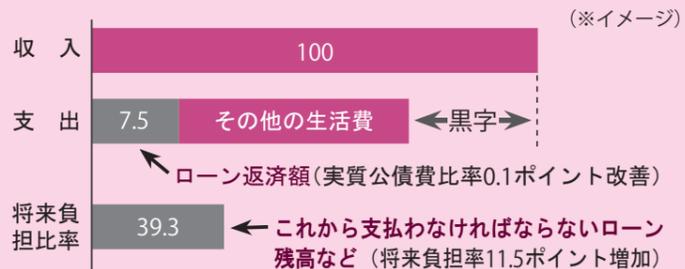
平成29年度決算に基づく町の状況は、下記のとおりです。引き続き健全な財政運営に取り組んでまいります。

### ■健全化判断比率（速報値）

比率名	本町の状況	早期健全化基準	財政再生基準	参考：昨年度の状況
①実質赤字比率	- (赤字なし)	15.00	20.0	- (赤字なし)
②連結実質赤字比率	- (赤字なし)	20.00	30.0	- (赤字なし)
③実質公債費比率	7.5	25.0	35.0	7.6
④将来負担比率	39.3	350.0		27.8

①実質赤字比率：1年間の家計に占める赤字の割合 ②連結実質赤字比率：2世帯住宅などの場合、それぞれの世帯の家計を合算した家族全体での1年間の家計に占める赤字の割合 ③実質公債費比率：年収に占めるローン返済額の割合 ④将来負担比率：ローン残高や生命保険の支払いなどが年収の何年分に相当するかを示した割合

### それぞれの比率を家庭に例えると...



ある家庭の1年間の収入(100)に当てはめてみました!



## 平成29年度は、このようにお金が使われました!

歳出を町民一人あたりでみると  
総額 **632,777 円 (+46,391 円)**  
※町民一人あたりの金額は、平成30年3月31日現在の町の住民基本台帳人口1万3,943人で割ったものです。

### 民生費

民生費とは、障がい者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのための経費です。

使われたお金...22億318万円  
→町民一人あたり...15万8,013円 (前年比+9,278円)

白鷹っ子養育事業に取り組み、出産のお祝いと健やかな成長を願い、新たに出生祝い金を贈呈するとともに、こども園の新園舎整備支援など、子育て環境の充実・支援を図りました。

### 衛生費

衛生費とは、母子保健、医療、環境などのための経費です。水道事業会計、病院事業会計への支出も含まれます。

使われたお金...5億1,888万円  
→町民一人あたり...3万7,214円 (前年比+257円)

各種検診等の実施により健康意識の向上に努めたほか、マタニティクラスの開催等を通じた子どもの育成と子育て支援を行ないました。

### 農林水産業費

農林水産業費とは、農業・林業・水産業振興の事業のための経費です。

使われたお金...5億4,613万円  
→町民一人あたり...3万9,169円 (前年比+535円)

基幹的産業である農業支援に取り組むとともに、白鷹農業振興地域整備計画の見直しを行なったほか、森林整備と多面的機能の保全に向けて森林境界明確化事業に継続して取り組みました。

### 商工費

商工費とは、商工業振興、観光振興などの事業のための経費です。

使われたお金...3億2,303万円  
→町民一人あたり...2万3,168円 (前年比+6,368円)

地場産業元気支援事業や高齢者等の買い物支援の実証実験をはじめとする商工業の振興に取り組むとともに、「日本の紅(あか)をつくる町」推進事業の継続実施やヤナ場の大規模改修事業を行なうなど、観光振興に向けた取り組みを行ないました。また、ふるさと移住応援プログラムによる移住支援を行ないました。



### 土木費

土木費とは、道路、橋、河川、公園など、まちづくりのための経費です。

使われたお金...8億5,869万円  
→町民一人あたり...6万1,586円 (前年比+8,493円)

町道谷町八ヶ森線整備や町道維持工事、橋梁長寿命化工事を行なうとともに、住宅のリフォームに対する支援や、すまいる住まい!若者定住サポート事業などの住宅施策を実施しました。

### 教育費

教育費とは、学校教育や生涯学習の充実、スポーツ等の振興のための経費です。

使われたお金...8億68万円  
→町民一人あたり...5万7,425円 (前年比▲13,576円)

荒砥小学校の大規模改修等の施設整備を行なうとともに、副食費を確保するための学校給食費支援事業に新たに取り組みました。また、全国高校総体女子ソフトボール競技等の各種大会を開催したほか、青少年国際交流事業や深山観音の屋根改修支援を継続実施しました。

### 公債費

公債費とは、地方債を返済する元利償還金と一時的な借入をした場合の支払利息のことをいいます。

使われたお金...8億9,938万円  
→町民一人あたり...6万4,504円 (前年比+7,793円)

建設事業などを行なうために借り入れたお金の返済などに使われました。

### その他

総務費、消防費、議会費、労働費、災害復旧費などです。

使われたお金...26億7,284万円  
→町民一人あたり...19万1,698円 (前年比+27,243円)

総務費では、まちづくり複合施設整備事業を着実に進めるとともに日本の紅(あか)をつくる町推進拠点施設の整備や地域おこし協力隊の増員、安心安全なまちづくり町民大会などを行ないました。また、消防費では、小型ポンプ積載軽自動車配備などを実施しました。これらのほか、議会費、労働費、災害復旧費に使われました。

### 平成29年度に実施した主な取り組み(抜粋)

- 1\_日本の紅(あか)をつくる町推進拠点施設を整備
- 2\_町産スギを活用した積み木の贈呈
- 3\_全国高校総体女子ソフトボール競技の開催